R8 研修会 REPORT



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
ＴＥＬ:(0244)26-1314
ＦＡＸ:(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和８年度 小･中学校中堅教諭等資質向上研修
養護教諭中堅教諭等資質向上研修（小･中）
「生徒指導研修」（相双地区）

○日　時：令和８年１０月３０日（金）９：５０～１６：１５
○会　場：浮舟文化会館（南相馬市小高区本町二丁目８９番地の１）
○参加者：小学校教諭８名、中学校教諭２名　合計１０名
○内　容：講　義「情報モラル教育」　講　義　「教員自身のメンタルヘルス」
講　義「本県生徒指導の現状と課題」　研究協議「課題解決に向けた具体的な指導援助」

【研修のまとめ】

広い視野から学校を組織的にマネジメントしていく立場にあることを自覚しながら、問題の**未然防止（プロアクティブ）**を重視し児童生徒が「安心して学べる環境の整備」を目指して、以下の点に留意していきましょう。

（１）**問題を「自分ごと」として自覚**できるようにし、**生成ＡＩ**を含め状況に応じて**適切に判断する力**を育成すること。【情報モラル教育】

（２）不登校の要因や背景は**複合化・多様化**している。また、いじめを認知した後の**適切な初動対応**が重要視されている。**「ふくしまサポートガイド」**や**「いじめの重大事態対応リーフレット」**を積極的に活用しながら、**実効性のある組織的な支援**を講じていくこと。【本県生徒指導の現状と課題】

（３）生き生きとした教員の姿が児童生徒に活力を与える。自分自身のストレスマネジメントや**職場の同僚同士が助け合い、支え合う環境づくり**を意識すること。【教員自身のメンタルヘルス】

研修の感想

○　情報モラルに関しては、子どもたち自身が考え判断し、実行していく力を育てていかなければならないと考えることができた。

○　生徒指導は、チームで対応することが大切だと感じた。

○　いじめを認知したら適切な初動対応を取ることについて、改めて日頃の対応を振り返りながら考えることができた。記録を取ること、組織的に対応すること、保護者との情報共有を忘れずに行っていきたい。

○　メンタルヘルスのための行動（相談、雑談、休憩など）には心の余裕が必要であり、様々な選択肢をもつことが大切であると感じた。

○　これまでの研修の経験を通して、学校においても同僚や上司と円滑に会話を積み重ねることで、前向きによい仕事ができると確信した。





１１月１１日　発行